

(様式 2-1) 社会資本総合整備計画等 中間評価書

1. 整備計画											
計画の名称		【地域再生計画】産業活力の向上と伊東の海、魅力再発見									
計画の期間		平成28年度 ～ 令和3年度			交付対象 静岡県、伊東市						
計画の目標		<p>・伊東港と富戸漁港を一体的に整備することにより、伊東市沿岸における観光交流の海上ネットワークの更なる充実と利便性の向上を図り、海洋レジャーとともに観光資源としての海の魅力を高める。また、漁船の安全留保の確保や老朽化した施設の整備による漁業就労者の労働軽減を図り、持続可能な漁業活動の確保による水産物の安定的な供給を実現する。</p>									
計画の成果目標（定量的指標）		<p>・伊東市沿岸観光交流客数の増加 1,086万人（H26基準年度）→ 1,131万人（R3年度末）                  ・伊東魚市場水産物水揚量の維持 6,128 t/年（H26基準年度）→ 6,128 t/年（R3年度末）</p>									
定量的指標の定義及び算定式					定量的指標の現況値及び目標値			備考			
					当初現況値	中間目標値	最終目標値				
					(H26基準)	(H30末)	(R3末)				
①	・伊東市沿岸観光交流客数の増加				1,086万人	1,129万人	1,131万人	・前年増数の半数増			
②	・伊東魚市場水産物水揚量の維持				6,128 t/年	6,128 t/年	6,128 t/年	・基準年の維持			
③											
全体事業費	合計 (A+B+C)	894 百万円	A	864 百万円	B	30 百万円	C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)			
事業種別	主な交付対象事業	要素となる事業名 (事業箇所)			事業内容 (延長・面積等)			市町名	全体事業費 (百万円)	備考	
港整備推進交付金		伊東港 (静岡県)			係留施設 L=39m、外郭施設 L=44m			伊東市	864	A	
事業数		富戸漁港 (伊東市)			係留施設 L=55m、輸送施設 L=298m			伊東市	30	B	
2											
2. 事業の進捗状況 (○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込 ー：その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等)) (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、 ●：本計画の期間中に完成 ▲：本計画の期間終了後に完成見込)											
計画の移行なし	○	2	△		ー			備考	計画の移行あり	●	▲
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況											
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>【港湾】クルーズ船の寄港が増えるなど、静穏度向上のための防波堤整備が伊東市沿岸の観光交流客数の増加に寄与している。                  【漁港】黒潮の大蛇行などの天然現象を受けて水揚量の維持が達成できていないが、沿岸資源増大事業（アワビの稚貝放流・ヒラメの幼魚放流・アオリイカの産卵礁の設置など）により、資源の増大を図っている。</p>									
II 定量的指標の達成状況	指標① (伊東市沿岸観光交流客数の増加)	中間目標値	1,129万人		目標値と実績値に差が出た要因	・防波堤改良による静穏度の向上や伊豆半島ジオパークを核とした観光需要の高まりが、目標を達成した大きな要因と考えられる。					
		中間実績値	1,145万人								
	指標② (伊東魚市場水産物水揚量の維持)	中間目標値	6,128 t/年		目標値と実績値に差が出た要因	・水揚量の減少については、水産資源の減少及び天候不順による操業日数の減少、周辺海域の海況変化 (近年の黒潮大蛇行など) が主な要因と考えられる。					
		中間実績値	4,467 t/年								
	指標③ ( )	中間目標値			目標値と実績値に差が出た要因						
		中間実績値									
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		<p>【港湾】事業を実施中であるが、防波堤の延伸による港内静穏度の向上により、海洋レジャー基地としての魅力向上が見込まれる。                  【漁港】事業を実施中であるが、老朽化施設の改良により、漁業者の就労環境の改善が見込まれる。</p>									
3. 今後の方針等											
<p>【港湾】港内の静穏度を向上させるため実施している防波堤の延伸工事において、平成30年7月の台風により手戻りが生じるとともに当初想定を上回る沈下が進行していることから、この対応に必要な事業期間と事業費を確保することにより計画期間内の完了を目指す。                  【漁港】事業は順調に進捗しているものの、水揚げ量が減少傾向にあることから、いとう漁協が実施する種苗放流 (ヒラメ、アワビ) や魚礁設置 (アオリイカ) 事業や伊豆地域栽培漁業推進協議会が取り組む種苗 (マダイ) 放流事業に対して支援を行うことで、水産資源の増大を図っていく。</p>											

(1) 事業の目的

【港湾整備課】

伊東港と富戸漁港を一体的に整備することにより、伊東市沿岸における観光交流の海上ネットワークの更なる充実と利便性の向上を図り、海洋レジャーとともに観光資源としての海の魅力を高める。また、漁船の安全係留の確保や老朽化した施設の整備による漁業就労者の労働軽減を図り、持続可能な漁業活動の確保による水産物の安定的な供給を実現する。

(2) 指標①：伊東市沿岸観光交流客数の増加

港湾整備による指標として、観光交流客数の増加を設定した。

指標②：伊東魚市場水産物水揚量の維持

漁港整備による指標として、水揚量の維持を設定した。

指標の達成状況

①H30年度末の中間実績値は105.7%であり、目標値（104.0%）を達成した。

②H30年度末の中間実績値は72.9%であり、目標値（100.0%）に達していないが、周辺海域の海況変化（近年の黒潮大蛇行など）が主な要因と考えられる。

計画の成果目標	定量的指標				達成率 (H30末中間)
	H26基準年	H30末中間目標	R3末最終目標	H30中間実績	
①伊東市沿岸観光交流客数の増加	100.0% (1,086万人)	104.0% (1,129万人)	104.1% (1,131万人)	105.7% (1,148万人)	101.6%
②伊東魚市場水産物水揚量の維持	100.0% (6,128 t/年)	100.0% (6,128 t/年)	100.0% (6,128 t/年)	72.9% (4,467 t/年)	72.9%

(3) 指標に関連する実施事例



(4) 定量的指標以外の効果の発現状況

伊東港においては、防波堤延伸等による港内静穏度の向上により、海洋レジャー基地としての魅力向上が見込まれ、富戸漁港においては、老朽化した施設の改良により、漁業者の就労環境の改善が見込まれる。

(5) 今後の方針

伊東港については、施工中に被災した白石防波堤の手戻りを含めた延伸工事の進捗を図ることにより、白石地区の静穏度を向上させ、更なる観光交流客数の増加を目指す。富戸漁港については、海象不良の影響を受けにくい沿岸資源増大事業（アワビの稚貝放流・ヒラメの幼魚放流・アオリイカの産卵礁の設置など）を通じて、資源の増大を図る。